

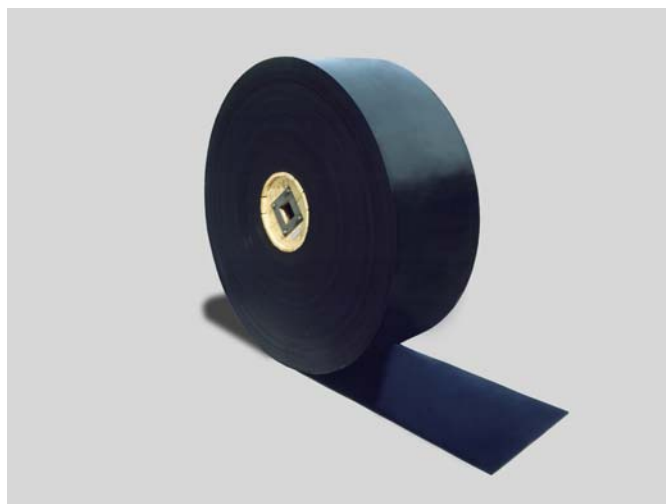
ごみ処理施設の安全対策に貢献

「難燃＋重耐油性コンベヤベルト」を開発

横浜ゴム(株)(社長：南雲忠信)は、難燃性能を兼ね備えた重耐油性コンベヤベルトを開発、今年3月末、東京都江東区青海二丁目地先の「東京二十三区清掃一部事務組合 中防不燃ごみ処理センター」に納入した。東京二十三区清掃一部事務組合は不燃ごみ処理施設等の火災事故防止の観点から、同施設で使用するコンベヤベルトを必要に応じて難燃仕様へ変更していく中で、今回はこの要請に応えた初の納入。

合成ゴムを主材料に用いたゴムベルトは、基本的には石油由来製品のため可燃物である。そのため何らかの理由で着火すると、燃え尽きるまで燃焼し続けてしまう。それに対し難燃性ベルトは、燃える特性は変わらないものの、自己消火性があり、炎から離れると鎮火し再燃することもない。この性能はゴムに配合されている難燃剤が熱反応でガス化しベルト周辺の空気を遮断することで発現される。新開発の「難燃＋重耐油性ベルト」は、油が付着した廃棄物に対し優れた耐油性能を維持しながら、特殊配合ゴムやベルト加工技術の新開発によって、高度な難燃性を付与することに成功した。

これまで難燃性ベルトは、ベルトの火災が重大事故に直結する炭坑や製鉄所で使用されるケースが多かった。しかし近年、ごみ処理施設が都市部に建設されていることも少なくないことから、これら施設での火災事故対策も重要課題になりつつある。こうした環境変化を踏まえ、今後横浜ゴムでは、全国自治体のごみ処理施設向けに、「難燃＋重耐油性ベルト」を積極的に販売していく計画。



「難燃＋重耐油性コンベヤベルト」

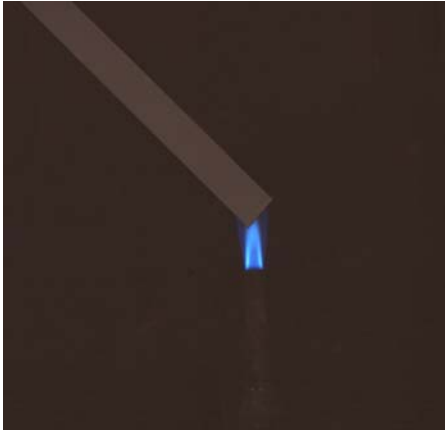
横浜ゴム株式会社 広報部 広報・IRグループ
〒105-8685 東京都港区新橋5丁目36番11号 TEL:(03) 5400-4531 FAX:(03) 3432-8430

THE YOKOHAMA RUBBER CO., LTD. CORPORATE COMMUNICATIONS DEPT.
36-11, Shimbashi 5-chome, Minato-ku, Tokyo 105-8685, Japan Telephone: 81-3-5400-4531 Facsimile: 81-3-3432-8430

通常のコンベヤベルトと難燃コンベヤベルトの比較

通常のコンベヤベルト

炎を近づけると燃え始め、炎を消しても燃え続ける。



難燃コンベヤベルト

炎を近づけると燃え始めるが、炎を消すと鎮火し再燃することもない。



このリリースに関するお問い合わせ先

横浜ゴム（株） 広報部 担当：多勢、池田

TEL：03-5400-4531 FAX：03-3432-8430